

歓迎と生新の 萬代六景

萬代橋は、市内の人と物の交流が高め、新潟市を日本海で随一の都市へと発展させる大きな原動力となってきた。そして将来、萬代橋周辺地区は MICE と LIFE という価値で世界と新潟を結び高め合う、新たな時代の架け橋となる。

1. まちづくりの視点

東アジアで都市間競争が激化する将来、新潟市が世界の中で輝き続けるために、以下について萬代橋地区に即して展開することが必要と考えた。

- ブランディング
⇒ 戦略性をもった地区の将来像をつくる
- プランニングとデザイン
⇒ 将来像を空間化する技術を構築する
- スキーム
⇒ 将来像を実現する制度・事業的な手法を考案する

2. 萬代ブランド MICE（歓迎）と LIFE（生新）

MICE 歓迎

国内外から来街者を招き、NIIGATA 流の「おもてなし」で迎える

Meeting（会議・研修・セミナー）

Incentive tour（報奨・招待旅行）

Conference（大会・国際会議）

Exhibition（展示会）

LIFE 生新

創造的で生き生きとしたライフスタイルをここから発信する

Lifestyle（ライフスタイルの提案）

Incubation（起業支援）

Fun（楽しさとアメニティの創出）

Ecology（地球環境への配慮）

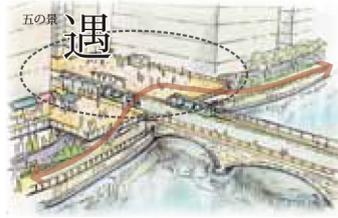
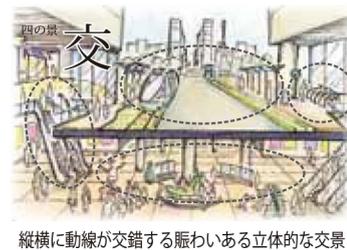
3. 萬代プランニング 間を縫い、間を編む

都市軸にLRTを通し、新潟駅前地区と古町地区を縫い合わせる。橋詰部分で河川敷レベルと回遊できる広場空間（萬代スクエア）を創出して、都市軸から南北へと賑わいの糸を繋ぐ。

LRT駅を中心に徒歩圏で生活できる地区単位（CCU: Compact City Unit）を編み込む。ミクスユースを基調としながらも特色をもった用途を誘導していく。



4. 萬代デザイン ブランド力高める都市イメージ『萬代六景』創出



5. 萬代スキーム BDGと事業スキーム

◎萬代橋地区デザインガイドライン（BDG）
萬代六景を創出する都市デザインのルール。
萬代橋地区まちづくり会社が主体となって策定と進行管理を行う。

◎萬代橋地区まちづくり会社
エリアマネジメント主体として想定。まち会社の主な役割として、BDGの策定及び進行管理、ハードからソフトまでの事業を一体的に実施する。

◎事業スキーム
・萬代スクエア：一部の規制緩和+税制優遇措置への公共貢献として民間が整備
・万代商業施設：テナントをグリップしたまま更新を可能にする連鎖建替え

6. ケーススタディ 萬代橋詰西地区デザインイメージ

